中国自然歩道　宍道湖・斐川・雲南コース

荒神谷・加茂岩倉 モデルコース
荒神谷遺跡←→加茂岩倉遺跡
（約7.6km・徒歩約230分）

木次・三刀屋周遊 モデルコース
峯寺下←→木次堤
（約12.4km・徒歩約190分）

木次桜トンネル

コースの概要

中国自然歩道　宍道湖・斐川・雲南コース

宍道湖・斐川・雲南コースは、一畑薬師から、宍道湖西岸、荒神谷遺跡、加茂岩倉遺跡、三刀屋・木次を通り雲南市湯村温泉に至る延長約66kmのコースです。

■荒神谷・加茂岩倉モデルコース

荒神谷・加茂岩倉モデルコースは、国宝指定された銅剣・銅鐸が出土した荒神谷遺跡、加茂岩倉遺跡といった遺跡や、光明寺、蓮台寺といった古刹を巡るコースです。

■木次・三刀屋周遊モデルコース

木次・三刀屋周遊モデルコースは、峯寺、三刀屋城址公園などの低山と、三刀屋川、斐伊川の堤などの平坦地を組み合わせた周遊コースです。

注意事項

自然歩道を歩くときはマナーを守り、安全第一で利用してください

- あらかじめ距離、時間、交通機関などを調べ、余裕のあるスケジュールを立てましょう。
- 通行止区間や熊・マムシの危険がないか等、観光案内所で最新情報を確認しましょう。
- 天気予報や雲の動きに注意し、天候が悪いときは歩行を控えましょう。
- 路上に転石や枯枝が見られる場所などでは、立ち止まらず、落石・落枝に注意して通行しましょう。
- 崖崩れや倒木で通行が難しいときは、無理せず来た道を引返し、次に歩く人のために、観光案内所に状況をお知らせください。
- タバコやコンロの使用は、山火事の危険がありますので、十分気をつけてください。
- 動植物を傷つけないようにしましょう。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 車道区間は、中国自然歩道の標識があまり整備されていませんので、お手持ちの地図や道路標識等でルートをご確認ください。
- 中国自然歩道以外の、トレッキングルートの最新情報や留意点は、観光案内所にご確認ください。
- 社寺等のトイレを利用される場合は、管理されている方の了解を得てから利用しましょう。

便利情報

■このモデルコースや周辺の最新情報については、次の案内所等へお尋ねください。
- 斐川町観光協会　TEL0853-72-5270　・雲南市観光協会　TEL0854-40-1054
- 荒神谷博物館　TEL0853-72-9044　・加茂岩倉遺跡ガイダンス　TEL0854-49-7885

■雲南市内の観光ガイドを希望される方は、こちらへ事前にお申し込みください。
- 雲南市観光ガイドの会事務局　TEL0854-40-1054

■斐川町、雲南市内の宿泊の情報は、「斐川町（雲南市）宿泊」でHP検索するか、次の案内所等へお尋ねください。
- 斐川町観光協会　TEL0853-72-5270　・雲南市観光協会　TEL0854-40-1054

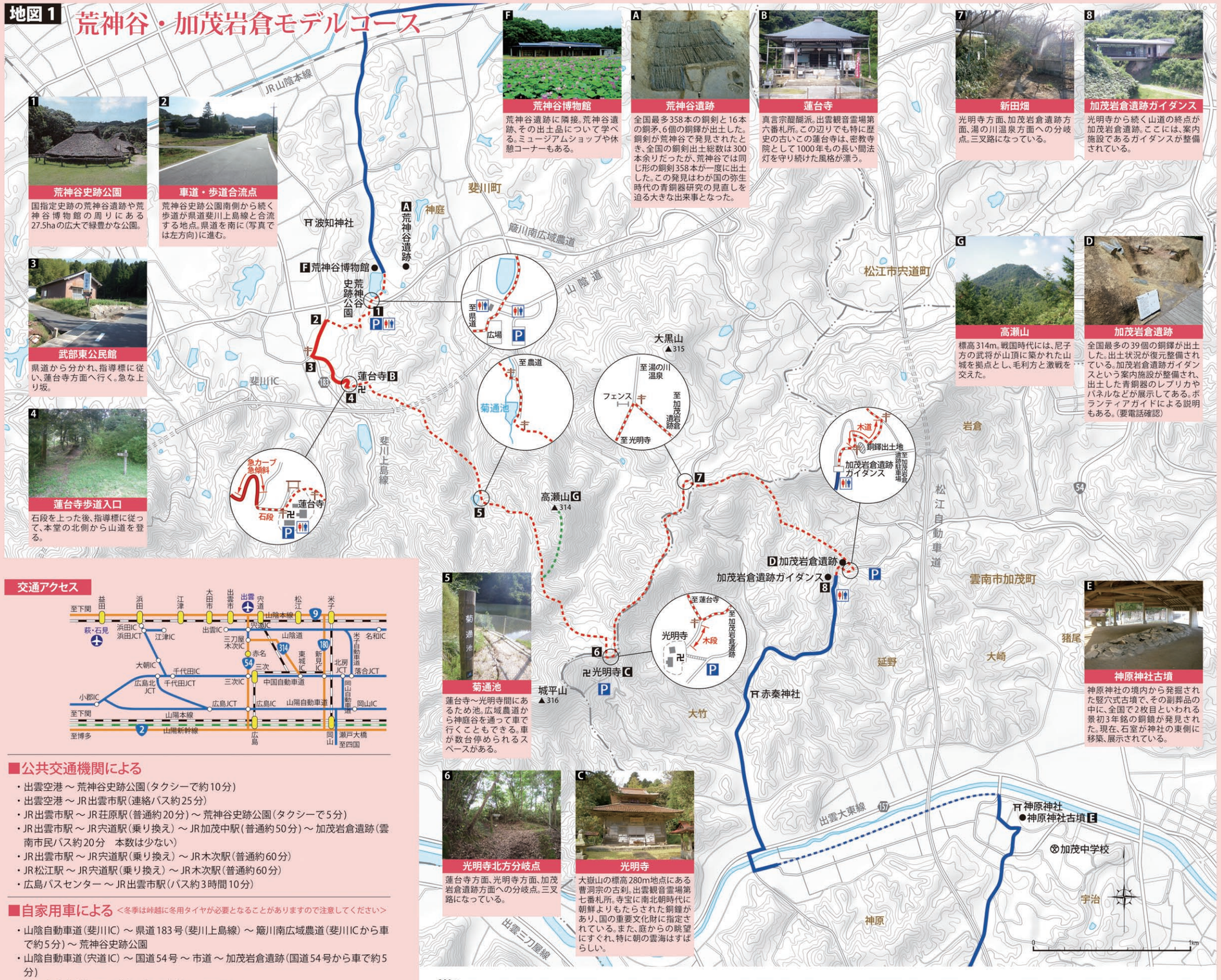
モデルプラン

日帰りのモデルプラン
雲南市三刀屋町到着後、木次・三刀屋周遊モデルコース散策、おろち湯ったり館入湯

1泊2日のモデルプラン
【初日】斐川町到着後、荒神谷・加茂岩倉モデルコース散策、湯の川温泉泊
【2日目】宍道湖自然館、宍道湖グリーンパーク、宍道湖西岸なぎさ公園見学

【問い合わせ先】　島根県　自然環境課
〒690-8501　松江市殿町１番地　TEL 0852-22-6172　FAX 26-2142
URL：http://www.pref.shimane.lg.jp/shizenkankyo/　E-mail：shizenkankyo@pref.shimane.lg.jp

地図１　荒神谷・加茂岩倉モデルコース



1 荒神谷史跡公園
国指定史跡の荒神谷遺跡や荒神谷博物館の周りにある27.5haの広大で緑豊かな公園。

2 車道・歩道合流点
荒神谷史跡公園南側から続く歩道が県道斐川上島線と合流する地点。県道を南に（写真では左方向）に進む。

3 武部東公民館
県道から分かれ、指導標に従い、蓮台寺方面へ行く。急な上り坂。

4 蓮台寺歩道入口
石段を上った後、指導標に従って、本堂の北側から山道を登る。

F 荒神谷博物館
荒神谷遺跡に隣接。荒神谷遺跡、その出土品について学べる。ミュージアムショップや休憩コーナーもある。

A 荒神谷遺跡
全国最多358本の銅剣と16本の銅矛、6個の銅鐸が出土した。銅剣が荒神谷で発見されたとき、全国の銅剣出土総数は300本余りだったが、荒神谷では同じ形の銅剣358本が一度に出土した。この発見はわが国の弥生時代の青銅器研究の見直しを迫る大きな出来事となった。

B 蓮台寺
真言宗醍醐派。出雲観音霊場第六番札所。この辺りでも特に歴史の古いこの蓮台寺は、密教寺院として1000年もの長い間法灯を守り続けた風格が漂う。

7 新田畑
光明寺方面、加茂岩倉遺跡方面、湯の川温泉方面への分岐点。三叉路になっている。

8 加茂岩倉遺跡ガイダンス
光明寺から続く山道の終点が加茂岩倉遺跡。ここには、案内施設であるガイダンスが整備されている。

G 高瀬山
標高314m。戦国時代には、尼子方の武将が山頂に築かれた山城を拠点とし、毛利方と激戦を交えた。

D 加茂岩倉遺跡
全国最多の39個の銅鐸が出土した。出土状況が復元整備されている。加茂岩倉遺跡ガイダンスという案内施設が整備され、出土した青銅器のレプリカやパネルなどが展示してある。ボランティアガイドによる説明もある。（要電話確認）

5 菊通池
蓮台寺～光明寺間にあるため池。広域農道から神庭谷を通って車で行くこともできる。車が数台停められるスペースがある。

E 神原神社古墳
神原神社の境内から発掘された竪穴式古墳で、その副葬品の中に、全国で2枚目といわれる景初3年銘の銅鏡が発見された。現在、石室が神社の東側に移築、展示されている。

6 光明寺北方分岐点
蓮台寺方面、光明寺方面、加茂岩倉遺跡方面への分岐点。三叉路になっている。

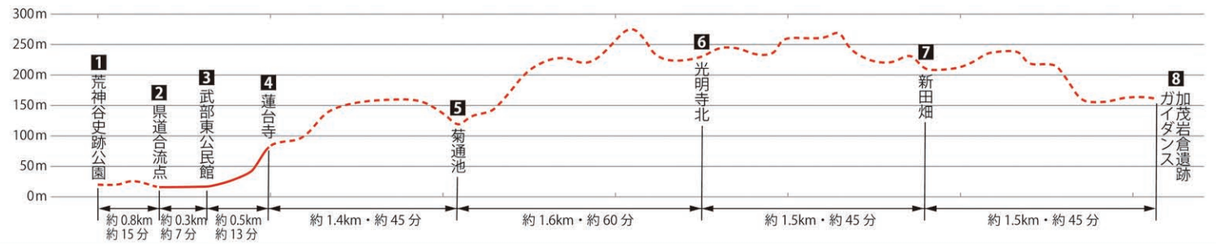
C 光明寺
大嶽山の標高280m地点にある曹洞宗の古刹。出雲観音霊場第七番札所。寺宝に南北朝時代に朝鮮よりもたらされた銅鐘があり、国の重要文化財に指定されている。また、庭からの眺望にすぐれ、特に朝の雲海はすばらしい。

交通アクセス

■公共交通機関による
- 出雲空港～荒神谷史跡公園（タクシーで約10分）
- 出雲空港～JR出雲市駅（連絡バス約25分）
- JR出雲市駅～JR荘原駅（普通約20分）～荒神谷史跡公園（タクシーで5分）
- JR出雲市駅～JR宍道駅（乗り換え）～JR加茂中駅（普通約50分）～加茂岩倉遺跡（雲南市民バス約20分　本数は少ない）
- JR出雲市駅～JR宍道駅（乗り換え）～JR木次駅（普通約60分）
- JR松江駅～JR宍道駅（乗り換え）～JR木次駅（普通約60分）
- 広島バスセンター～JR出雲市駅（バス約3時間10分）

■自家用車による <冬季は峠越に冬用タイヤが必要となることがありますので注意してください>
- 山陰自動車道（斐川IC）～県道183号（斐川上島線）～簸川南広域農道（斐川ICから車で約5分）～荒神谷史跡公園
- 山陰自動車道（宍道IC）～国道54号～市道～加茂岩倉遺跡（国道54号から車で約5分）
- 松江自動車道（三刀屋木次IC）～木次町、三刀屋町
- 中国自動車道（三次IC）～国道54号～雲南市（車で約1時間30分）
- 荒神谷遺跡～簸川南広域農道～国道54号～市道～加茂岩倉遺跡（車で約20分）

バス会社の連絡先
【出雲空港連絡バス】
出雲一畑交通（HP有）
TEL0853-21-1144
【雲南市内のバス】
雲南市民バス（雲南市地域振興課）TEL0854-40-1013

タクシー会社の連絡先
斐川町内、雲南市内に数社あります。「斐川町（雲南市）タクシー」でHP検索するか、次の案内所へお尋ねください。
【斐川町観光協会】
TEL0853-72-5270
【雲南市観光協会】
TEL0854-40-1054

レンタカー会社の連絡先
出雲空港周辺、雲南市内に数社あります。「斐川町（雲南市）レンカー」でHP検索するか、次の案内所へお尋ねください。
【斐川町観光協会】
TEL0853-72-5270
【雲南市観光協会】
TEL0854-40-1054